



群馬県産なすは皮が柔らかく食味良好 京浜地区の量販店で群馬県産露地なすをPR!

平成30年度 共計露地なす消費宣伝会

- 期日：7月27日(金)
- 場所：東京都(1店)、神奈川県(2店)の量販店
- 主催：JA全農ぐんま、共計参加JA
- 内容：共計露地なすの消費宣伝会及び試食宣伝

群馬県産は柔らかく美味しいと大好評!

京浜地区の量販店3店舗で共計露地なす消費宣伝会が開催されました。共計に参加するJA担当者自ら店頭立ち、今が旬の群馬県産露地なすを積極的にPRしました。

今回の消費宣伝が行われたマルエツ鹿島田店(神奈川県川崎市幸区)では、シンプルに浅漬けの素に20分漬け込み紫蘇を添えた「なすの浅漬け」が提供されました。マネキンさんも「群馬県産は皮が柔らかく美味しいですよ。」と積極的に群馬県産露地なすの食味の良さをPRしていました。「さっぱりとして美味しい。」とお客様にも好評で、露地なすと一緒に「浅漬けの素」もセットで買っていく人気ぶりでした。

JA全農ぐんまが作成した「なすとトマトのパスタ」や「なすのはさみ揚げ」のレシピと群馬県産なすの特徴が記載されたリーフレットが配布され、京浜市場のお客様に群馬県産露地なすの食味の良さ等をPRしました。

群馬県産夏秋なすはH28年から都中央入荷量1位!

群馬県の夏秋なす(7~11月)都中央入荷量は、H28年から栃木県を抜いて1位となっています。入荷量伸長率(H29/H25)は群馬県以外は83~96%と減少傾向で推移していますが、群馬県は127%と大幅な増加傾向を示しています。

H30年は春先の気温高と適度な降雨から、高知産の出荷は前進傾向で推移したため切り上がり早く、6月のなす都中央入荷量は前年比84%と多かった前年に比べて大幅に減少しましたが、関東近在産露地なすの生育は概ね順調で、埼玉産は同86%と前年に比べるとかなり少なかったですが、栃木産同103%、茨城産同107%、群馬産同112%と各産地かなり順調に出荷が行われました。7月は高温干ばつ傾向で各産地花落ちやボケ果が散見されていますが、埼玉産同102%、栃木産同108%、群馬産同107%と概ね順調な出荷が行われています。



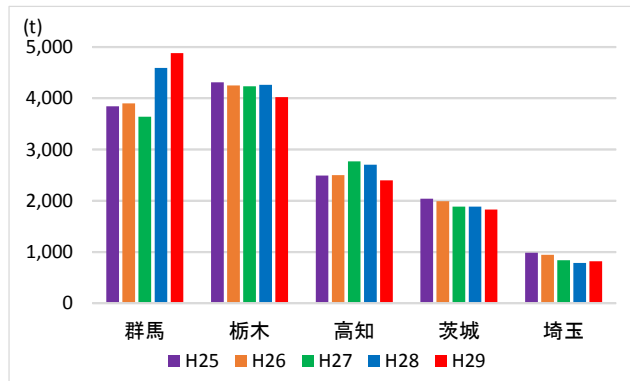
店頭での群馬県産共計露地なす



露地なす消費宣伝



試食品：露地なすの浅漬け



H25~H29のなす都中央入荷量上位5産地(7~11月)